

平成 29 年 3 月 16 日

天理市議会議長 大橋 基之 様

議会運営委員会  
委員長 飯田和男

議会運営委員会視察報告書

視察日程 平成 29 年 1 月 17 日（火）～18 日（水）

視察先及び調査事項

神奈川県横須賀市議会 1 月 17 日（火）

調査事項「議会運営について」

神奈川県藤沢市議会 1 月 18 日（水）

調査事項「議会報告会について」

視察議員	委員長	飯田 和男
	副委員長	堀田 佳照
	委員	加藤 嘉久次
	委員	廣井 洋司
	委員	東田 匡弘
	委員	仲西 敏

随行者 議会事務局 松原 茂幸

## (1) 視察先及び目的

### 1. 神奈川県横須賀市

調査事項「議会運営について」

#### 目的

議会基本条例を策定し施行するなかで、議会運営の取り組み方について下記の項目について検討したく、先進的に議会運営を実施されている横須賀市議会への視察研修。

#### 記

- ◆ 議会基本条例の概要
- ◆ 議会基本条例に基づく主な取り組み
  - 1 予算決算常任委員会による審査
  - 2 市民との懇談会・議会報告会
  - 3 一問一答による質疑
  - 4 閉会中における文書による質問
  - 5 継続的議会改革のための検討会設置
- ◆ 議会の IT 化について

### 2. 神奈川県藤沢市

調査事項「議会報告会について」

#### 目的

議会基本条例に基づき「議会報告会」を開催するなかで、見直し検討する課題が山積のため、先進的な取り組みを実施されている藤沢市へ、次の項目について視察研修。

- 「開かれた議会」「市民に親しまれる身近な議会」を目指す。
- 条例に基づき、広報広聴委員会を設置。

## (2) 視察概要

### 1. 横須賀市役所

- ①視察日時 平成 29 年 1 月 17 日 (火) 午後 2 時～4 時
- ②調査事項  
「議会運営について」
- ③視察先対応者  
市議会事務局議事課 課長 渡邊 将成氏

課長補佐 堀越 裕子氏  
主任 蒲田 昭彦氏

#### ④施策概要

横須賀市議会では、議会基本条例に基づき、予算決算常任委員会による審査を行っている。設置の目的は、一つ目として、従来の分割付託による審査方法は、各委員会で表決結果が異なる可能性ある等、矛盾が生じることから、これを解消する。二つ目として、予算審査と決算審査を同一議員が行うことにより、総合的・一体的な審査を行うことである。

設置経過としては、平成20年10月「議会制度検討会」で検討を開始。平成23年3月「予算決算常任委員会運営要綱」制定。平成23年5月から設置。

予算決算常任委員会の構成は、全体会の委員は議長を除く全議員。理事会の理事は、各常任委員会の正副委員長。分科会の委員は、各常任委員会と同じ。

予算決算議案審査の流れは、理事会→議会運営委員会→本会議→予算決算常任委員会→分科会→理事会→予算決算常任委員会→本会議→予算決算常任委員会の設置効果として、一つは分割付託解消による円滑な議案審議、二つ目として同一議員が予算決算審査を行うことによるチェック機能の強化が挙げられる。

#### ⑤参考資料

※議会改革の取り組みについての冊子

※横須賀市議会の概要

※市議会だより

※議会でゲンキの冊子

### (3) 考察と今後の課題

横須賀市議会では、議長を除く全議員による「予算決算常任委員会」を設置し、予算と決算の総合的・一体的な審査が行われている。同一議員が予算決算審査を行うことで、議会としてのチェック機能の強化がメリットとして挙げられる。予算決算常任委員会は、全体会、理事会、分科会で構成され、付託される議案は、常任委員会にあたる分科会に分割送付され、議案に対する質疑のみを行い、全議員の全体会で、分科会委員長報告に対する総括質疑を行い、討論・採決する仕組みである。

本市の予算審査・決算特別委員会の審査が、限られた議員による審査で、

委員長報告も重要事項にとどまることから、予算決算審査が議会全体の十分なチェック機能を果たす上で、課題が内包されているとも考えられる。

また、決算審査における意見・要望等が予算にどのように反映されたのか、一体的に審査する上で課題があることから、横須賀市議会における、常任委員会による予算決算の一体的審査の意義は大きいと思料する。

予算審査・決算特別委員会での審査の在り方に関し、予算・決算議案を常任委員会に分割付託し、常任委員会として一体的審査を図るという方法はチェック機能を強める上で有効なのではないかと考察する。

## 2. 藤沢市役所

①視察日時 平成 29 年 1 月 18 日（水）午前 9 時半～11 時半

②調査事項

「議会報告会について」

③視察先対応者

藤沢市議会議員	柳田 秀憲氏
市議会事務局 課長	寺田 俊介氏
	主幹 田口 英太郎氏

④施策概要

藤沢市においては、平成 24 年度には「市民の声を聴く会」を開催され、平成 25 年度からは「議会基本条例」の制定、施行後「議会報告会・意見交換会」を平成 26 年度までに開催されていたが、参加者の固定化・減少、市民と議会との対立ムード、テーマ設定、報告の進め方の課題、参加者の満足度の低下等、問題点が山積し新たな取り組みへの見直しが平成 27 年度検討され、広報広聴委員会を設置し、専門家のアドバイスを受け「議会報告会・意見交換会」をさらに発展させる。

- 1 名称やチラシを工夫して、親しみやすいものにする。
- 2 ワールドカフェ形式を採用し、和やかな雰囲気での意見交換。
- 3 18 歳選挙権を見据えて「投票率の向上」をテーマにする。

※ワールドカフェ（カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、小グループを作り、メンバーを替えながら話し合う手法。）

平成 28 年度第 1 回「カフェトークふじさわ」を開催。

「投票率の向上」をテーマに高校生以上の若い方も対象に、ワールドカフェ形式を採用し、専門のファシリテーターを招き、各テーブルホスト（進行役）を大学生に担当してもらう。

開催後のアンケート結果

- 参加者の年齢層が若者から高齢者まで幅広くなる。
- 女性の参加者が増える。
- 満足度が大幅に向上した。

⑤参考資料

- ※藤沢市の概要
- ※議会報告会の取り組み
- ※議会報告会・意見交換会アンケート集計
- ※新聞掲載記事

(3) 考察と今後の課題

「市民に親しまれる身近な議会」を目指す藤沢議会の取り組みは、議会をサポートしてくれるファンをつくることが、原点ではないかと思う。和やかな雰囲気での意見交換を行うことが参加者の拡大、若者、女性層の増加につながりみんなが主役として自由に意見交換ができ、議員と市民の垣根がなくなったように思う。

ファシリテーターや学生の重要性が課題であり、専門家や本市では天理大学生の参加も検討課題である。

女性の参加増が顕著に表れたのは、カフェ形式の採用を取り入れた結果だと思う。大学生の進行役による若者の議会参加、従来の一般参加者と年齢層が幅広くなり多様な意見交換ができたと思う。

今後のテーマについての質問回答では、「藤沢市の知名度アップ」について検討されているとのことで、テーマづくりも重要な課題である。会場や、募集方法、継続性等課題も山積しているが、いかに政策立案につなげていくかが大きな課題である。

今後の本市の議会報告会の方向性として、グループ討論の導入を検討していく必要があるのではないかと思う。